

天理市

“テレワーク”による雇用創出事業



1 雇用の場の確保に関する課題及び基本的な考え方

- ① 本市においても女性活躍推進に取り組んでいるが、結婚や出産等でキャリアを中断せずに女性が働き続けられる環境の構築が課題。
- ② 「女性の就労支援」、「障がい者の就労支援」を新しい働き方である“テレワーク”で推進。
- ③ コロナ禍を受け、オンライン化が進む学生の就職活動の支援やワーケーションの推進にも展開。

2 取組の概要

【女性の就労支援事業】

- 子育て世代の女性を中心に、企業の雇用ニーズを踏まえた技能習得講習（3D-CAD講習会）を実施し、実際にテレワークを通じて働くことができる人材の育成と就労を一体的にサポートし、出産や介護等でキャリアを中断せずに女性が働き続けられる環境を構築。

【障害者就労支援事業】

- 時間や場所を有効に活用して働くことができる「テレワーク」の特性を活かすことで、障害のため毎日会社へ通勤することの難しい人が、自宅や近くのテレワークセンターなどを使い、自分らしく働くことを実現する。

3 取組の効果 または 苦労した点や今後の課題

- 女性の就労支援事業
都内に建設中のビル設計や、2次元（平面）図面を3次元（立体）化する業務などを受注されし、報酬を得ている。
- 障害者就労支援事業
講習会修了者の中には、複数の企業の求人に応募するなど、就職活動を意欲的に取り組まれており、都内に所在する監査法人への就職が実現した修了者もいる。
- 学生のオンライン就活支援
コロナ禍によりオンラインでの就職面接やインターンシップ等が増加しており、PCやWEBカメラ等の設備が整った個室での集中した活動を支援。
- ワーケーション等の新しい働き方を提案
テレワークの活用により、家族の介護による離職を回避することができた事例あり。コロナ禍を受け、様々な働き方が見直される中、今後は“ワーケーション”等に対応した次の展開を進めていきたい。

詳しくは 天理市産業振興館ホームページ <http://tenri-twc.jp>

天理市

インキュベーション事業による企業誘致



1 雇用の場の確保に関する課題及び基本的な考え方

- ① 市内に所在する「シャープ（株）総合開発センター」が再編により生産拠点から研究開発拠点となり、施設内の遊休スペースが課題となっていた。
- ② 官民連携により、インキュベーション事業としてスタートアップ企業を誘致・支援。

< メリット >

シャープ(株)：施設の遊休スペースの活用、入居企業との技術提携や新たな事業の創出。

入居企業：オフィスの安価な確保とシャープ(株)の技術・ノウハウとの連携。

天理市：企業誘致の促進、雇用創出、税収増、地域の活性化。

2 取組の概要

- シャープ（株）と連携協定を締結。「シャープ（株）総合開発センター」の遊休スペースを活用し、インキュベーション事業としてオフィスを確認したいスタートアップ企業を誘致・支援。

< 支援内容 >

◇天理市

- ・ オフィススペース等の入居費（賃料）の25%を補助（2ヶ年）。
- ・ スタートアップに係る補助金利用等の相談・支援。
- ・ 市施設等のフィールド提供や広報・PR。

◇シャープ（株）

- ・ 入居後、半年間の施設入居費は無償。
- ・ シャープの研究設備やネットワーク等を事業展開に利活用可能。
- ・ シャープ総合開発センター内の施設（社員寮、食堂、スポーツジムなど）の提供。

3 取組の効果 または 苦労した点や今後の課題

- R2.1月の協定締結以降、2社が開所され操業済み。
- 入居企業が市の屋外施設（市内事業者なので利用無料）において、ドローンによるスマート農業体験会を開催する等、企業誘致による波及効果もあり。
- シャープ(株)の“8K”技術について、総務省も参加しているNTTの“ローカル5G”技術と連携し、ドローンによるインフラ点検や測量の実証に向けた展開を進めている。

詳しくは 天理市ホームページ

<http://www.city.tenri.nara.jp/kakuka/kankyokeizai/sangyoukyousouryokuyokasitu/1579852593901.html>